

いれものからみる横須賀の歴史

～企画展示「土・石・木・・・器のかたち」～

出土遺物や収集資料のなかから、近代以前の器(うつわ)に焦点を絞り展示します。物を入れる器には、目的や用途、さらには使われた時代によって素材の違いばかりでなくさまざまな形のものがあります。どのような器がいつ・なぜ・どのように使われたかを知ること、横須賀の歴史や特徴が明らかとなってきます。

1 期間・開館時間

3月12日(土)～6月5日(日) 9時～17時

【休館日：月曜日(ただし祝日の場合は翌日)】

2 場所

横須賀市自然・人文博物館 特別展示室

3 内容

(1) 華麗なる器

江戸時代の浦賀湊の隆盛をしのばせる、商家旧蔵の金蒔絵重箱と高級磁器

(2) 死者の器(棺)

弥生時代から近世までの各時代で使われた壺棺・甕棺・骨蔵器など

(3) 生業の器

国指定有形民俗文化財を含む、生け簀・カゴなどの三浦半島の漁撈用具など

(4) 戦時下の器

大形望遠鏡と収納箱のほか、粗悪なガラス瓶、陶製手榴弾など

4 関連行事

特別展示解説

日時：3月12日(土)、5月29日(日) 13時30分～15時

場所：横須賀市自然・人文博物館 特別展示室

平成27年度企画展示

土・石・木…器のかたち

—いれものからみる横須賀の歴史—

さまざまな素材・多様なかたち
器は時代を生きたひとびとの歴史から創り出されている

3月12日(土) - 6月5日(日)



開催場所
横須賀市自然・人文博物館
人文館3階 特別展示室

開館時間
9時～17時

休館日
月曜日
(祝日の場合は翌日)

入場無料

展示解説
・3月12日(土)
・5月29日(日)
13時30分～15時
特別展示室
参加自由



[交通] 京浜急行横須賀中央駅下車
徒歩10分、JR横須賀駅よりバス
「文化会館前」下車徒歩5分



横須賀市自然・人文博物館

〒238-0016 横須賀市深田台95 TEL. 046-824-3688



横須賀市内から出土した遺物や収集された資料のなかから、近代以前の器(うつわ)に焦点を絞り展示します。物を入れる器には、目的や用途、さらには作られた時代によって素材の違いばかりでなくさまざまな形のものがあります。どのような器がいつ・なぜ・どのように使われたかを知ることによって、横須賀の歴史や特徴が明らかとなってきます。

0【華麗なる器】

- ・江戸時代の浦賀湊の隆盛
(金蒔絵重箱と高級有田磁器)



1【食べる器】

- ・調理器具の変遷
(縄文時代の土器から近代の炊飯器まで)
- ・普段使いの食器と高級陶磁器
(古墳時代から江戸時代までの食器)



II【祀る器(不思議なかたちの器)】

- ・各時代の祭祀に使われた特殊な器
(ミニチュア土器や特異形状の土器、仏具)



III【死者の器(棺)】

- ・再葬や火葬など、弥生時代から近世までのさまざまな墓制
(壺棺・甕棺・蔵骨器)



IV【生業の器(商人・職人の器)】

- ・道具としての器からみる近世・近代の生業
(国指定重要有形民俗文化財「三浦半島の漁撈用具」など)



V【横須賀線の器(ハイカラな器)】

- ・横須賀線の開通による急速な都市化
(大正時代初期の汽車土瓶や西洋式の日用雑貨容器など)



VI【戦時下の器】

- ・戦争のための器と物資不足であった庶民の暮らし
(大形望遠鏡収納箱、陶製手榴弾、粗悪なガラス瓶など)

